

青年部新役員体制確立！

日刊 動労千葉

87. 9. 4
No. 2646

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

第10回青年部定期委員会開催 8/30 31

青年部は、八月三〇～三十一日、一の宮荘において、第十回定期委員会を開催し、大成功をかちとった。二日間のべ百人が参加し、討論を深め、八七年度活動方針と新役員を選出した。いよいよ総反撃の闘いが開始された。

分割・民営化の狙いを粉砕したぞ！

四月、分割・民営化が強行実施されるという画史的な経過、また、八月、出向攻撃粉砕へのスト権確立、動労水戸地本の新労組結成、青年部の反撃の開始と、今後の闘いの展望等、定期委員会は、実に重要な時期にもたれた。

議事は、浜野君（津田沼）を議長に選出して進められた。あいさつに立った新藤青年部長は「闘いはこれから。スト権は圧倒的に確立した。強制出向と実力で闘おう。青年部が闘いに責任をとろう」と提起した。

本部を代表して田中特執は「動労千葉の歴史的位位置は非常に高い。全国が出向に対する動向を見ている。スト権確立の力が九月一日付出向を粉砕している」とあいさつした。また、動労水戸吉田副青年部長は「新労組を結成した水戸地本を支持し共に闘いぬく」と連帯の決意を表明した。

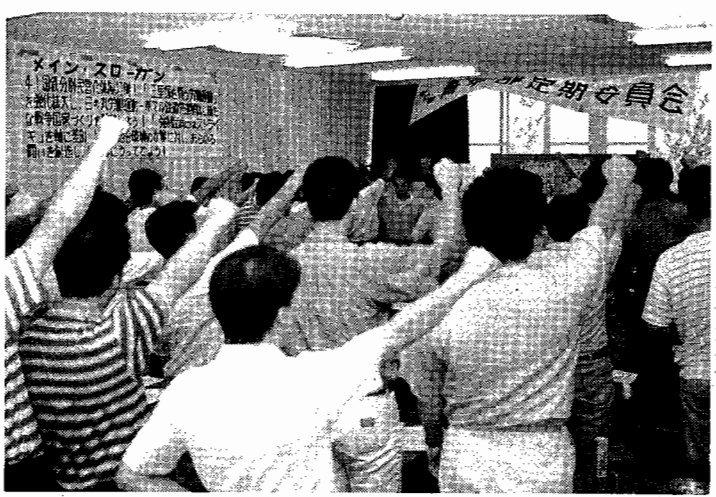
続いて、常任委員会より八七年度の闘いの総括と会計報告がされ拍手で承認された。八七年度活動方針（情勢）提起がなされ討論に移った。各支部ともスト権確立の地平にたつ力強い報告と決意が表明された。とりわけ、八・五抗議行動が、大きなバネになったことが明らかにされた。夕食をすませたのち、また議事を再開した。国

労の仲間、三里塚反対同盟青行隊伊藤信晴さんより連帯のあいさつをもらい、水野副委員長の講演に入った。

水野副委員長は「出向との闘い方はいくらでもある。創造的な闘い方をつくっていかう。その先頭に青年部が立ってほしい。闘うことはきびしいが、愛する家族のために闘って欲しい」と五〇分に渡って訴えられた。

動労千葉の最先頭で闘う！

二日目、中江船橋市議のあいさつをうけた後、八七年度活動方針と予算を提案し、討論に入った。「出向攻撃が始まっている。区長面談は東千芳が多い。わが青年部にも声がかけられたが、ただち



に拒否した。今後ががんばる」「駅の期限はどうなっているのか。また、あごヒモ・カーテン闘争はやってあたり前、俺たちの犠牲になって清算事業団に行っている人のことを考えるべき」「五七予科生のハンドル訓練を早くやってほしい。ポナスカットを体操拒否等でやられた。許せない。組合バッチをつけよう」「便乗した時に組合員かどうかわかるようにしてほしい」「青年部員が乗務停止攻撃をかけられたが総力で反撃した。今後「闘う」等々、活発な意見がだされた。

青年部、本部より答弁がされ、意志統一がより深まった。各決議文が提案され、最後に、常任委員会のもととして、9・22千葉運転区支部交流会を始めとする行動提起がされた。

議案が拍手で承認され、新役員が発表される。委員会は大成功のうちに終了した。

総反撃へむかって闘いは開始された。青年部は動労千葉、全国の全産業の労働者の先頭に立って闘う。すでに、実力抵抗の闘いに定期委員会終了後、ただちに突入している。

青年部新三役員

青年部長	杉本 則夫（勝浦）
副青年部長	佐藤 正和（新小岩）
書記長	永島 務（幕張）

青年部はすでに実力抵抗の闘いに突入している。スト権の確立、水戸地本決起を武器にさらに反撃を！
全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！